

# 冬学期集中講義 公開講座

## 多文化社会コーディネーション研究2

日時：2026年1月26日（月）～1月30日（金） 2～4限

この集中講義は、本学大学院キャリア・プログラム「多文化社会コーディネーター養成プログラム」の一科目として開講されます。講義の一部を一般公開します。

履修希望者 → 履修登録期間：2026年1月8日～9日

それ以外の方 → 公開講座 聴講申込期間：2026年1月8日～25日

	1月26日（月）	1月27日（火）	1月28日（水）	1月29日（木）	1月30日（金）
	多文化社会への 向き合い方	さまざまな属性を持って日本で生活する人びとの現状 ならびに彼ら/彼女らとの連帯・共生・協働	多文化共生社会と 市民権		総括
2限	開講の挨拶 藤縄 康弘 (東京外国語大学 大学院 総合国際学研究科長)  趣旨説明・導入 萩尾 生 (東京外国語大学 世界言語社会教育センター 教授)	<u>＜学内限定公開＞</u>  <u>外国人との共生社会の 実現に向けた政府の取組み</u>  山口 優樹 氏 (出入国在留管理庁 政策課 外国人施策推進室 補佐官)	<u>＜一般公開＞</u>  <u>マンガ的ステレオタイプ からユニバーサルな アイヌ文化理解へ</u>  奥田 統己 氏 (札幌学院大学 人文学部 教授)	ディスカッション  萩尾 生、小島 祥美 (東京外国語大学)	履修生による口頭発表とディスカッション
3限	<u>＜学内限定公開＞</u> <u>多文化社会コーディネーター とは何か：</u> NPOでの実践から考える  新居 みどり 氏 (NPO法人 国際活動市民中心 CINGA コーディネーター)	<u>＜一般公開＞</u> <u>共に生きる社会に向けて：</u> 日本に生きる難民・移民・ 外国ルーツをもつ人々の現状と 取り組みから考える  山岸 素子 氏 (NPO法人 移住者と連帯する 全国ネットワーク 理事・事務局長)	<u>＜一般公開＞</u> <u>言語的多文化共生：</u> <u>ろう者・ろう学校をテーマに</u>  中島 武史 氏 (兵庫教育大学 特別支援教育専攻 准教授)	<u>＜一般公開＞</u> <u>ヘイトクライムと リテラシー：</u> 見えない差別に気づくために  石橋 学 氏 (神奈川新聞 川崎総局 編集委員)	
4限	<u>＜一般公開＞</u> <u>共生社会にむけて：</u> <u>民間非営利セクターの役割</u>  川崎 あや 氏 (一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事)	<u>＜一般公開＞</u> <u>外国人労働者の現状と 権利を守るための取組み</u>  渡辺 寛人 氏 (NPO法人 POSEE 事務局長)	<u>ここまでの振り返り</u>  小島 祥美、萩尾 生 (東京外国語大学)	中村 一成 氏 (フリージャーナリスト)  進行：小島 祥美 (東京外国語大学 多言語 多文化共生センター センター長)	

公開講座 聴講申込み（参加費無料。定員に達し次第〆切ります。）

◀ 一般公開（どなたでも参加可）

<https://forms.gle/Y5LgKvFGBhm27jif6>

学内限定公開（本学の学生・教職員のみ）▶

<https://forms.gle/XHJUoGJQUEbaThuL9>

問い合わせ：shohagio@tufs.ac.jp（萩尾生/小島祥美）

